

## 事業所における自己評価結果

公表

事業所名		RIS保育所等訪問支援				公表日	2025年 3月 3日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		使用している教具や教材は、子どもの発達や支援に適したものを選定しています。	より多様な教材の導入や定期的な見直しを行い、子どもたちの興味をさらに引き出せるよう努めます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	・必要最低限の人員配置を確保しています。 ・言語聴覚士の訪問ニーズが高く、利用の待機をしていただく場合もある	希望される利用者数の増加に対応するため、より柔軟な職員配置を検討してまいります。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		職員が共に目標設定や振り返りを行い、支援の質向上に取り組んでいます。	さらに効果的な目標達成方法を取り入れ、職員の取り組みを充実させます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者の皆さまの意見をもとに、支援の質向上に努めています。	評価表の内容や収集方法を見直し、さらなる改善につなげていきます。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		職員の意見を定期的に収集し、現場で活かしています。	意見収集の機会を増やし、寄せられた意見を一層有効に活用できるよう取り組みます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	外部評価は不十分であったため、今後取り入れていきたいと思っております。	外部評価を取り入れ、評価内容をより具体的に支援計画や運営方針に反映させます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3		職員のスキル向上を目的に、定期的な研修を実施しています。	より多様な研修テーマを取り入れ、職員間での学びの共有を強化します。	
適切な支援の提	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		子どもたちの発達状況を、観察や標準化されたツールを用いて適切に把握しています。	アセスメントの精度をさらに高めるため、研修やツールの更新を検討いたします。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員全員で子どもの支援について考え、計画を作成しています。共通理解を大切にしながら、お子さん一人ひとりに適した支援が提供されるよう努めています。	より効果的な支援を提供するため、支援計画の作成時に職員間の意見交換の場を増やし、支援方法についてさらに深く検討できる機会を設けていきたいと思っております。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問先の施設と連携し、担任の先生の意向も支援計画に反映しています。施設の利用や支援方法を尊重し、子どもにとって最も良い形での支援を行うよう配慮しています。	訪問先施設とのコミュニケーションをさらに円滑にし、支援計画の内容についての理解を深める機会を増やしていきます。また、施設側からのフィードバックを定期的に受け、計画の見直しを行っていきます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援計画は職員間で共有され、計画に沿った支援が行われています。支援方針が統一されているため、子どもたちが一貫した支援を受けることができるようになっています。	職員間での共有方法をさらに工夫し、計画の詳細をより深く理解し合えるような仕組みを作っていきます。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		標準化されたアセスメントツールを活用しながら、日々の観察を通じて子どもの適応行動を把握しています。その結果を支援計画に反映し、子どもにとって適切なサポートが行えるよう努めています。	アセスメントの方法をさらに充実させ、より正確で多角的な視点から子どもの状況を把握できるよう取り組んでいきます。また、観察結果を職員間で共有し、支援の質を向上させていきます。	
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ガイドラインに沿った具体的な支援内容を計画に盛り込み、実際の支援が計画通りに行われるよう工夫しています。子どもたちに必要な支援を明確にし、支援者全員が共通の認識を持つことができている。	支援内容のさらなる具体化や個別のニーズへの対応を強化するため、定期的に計画を見直し、常に最新の支援が提供できるよう努めていきます。		

供	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		訪問支援計画の共有をし、職員が共通の理解を持ちながら支援を実施できています。	計画共有の仕組みをより効果的にし、職員全員が支援内容を把握しやすいような情報共有の工夫を進めています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		3	毎回の支援開始前に職員間で打ち合わせを行うことは難しいが、適宜ミーティングを実施することで、チームとして統一した支援ができるよう努めています。	打ち合わせの内容をより具体化し、支援の目的や方法についてさらに詳細な確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		3	支援終了後、対面での振り返りを行うことは難しかったのですが、適宜その日の気づき等をオンラインにてスタッフ間で共有しています。	振り返りの内容を記録として残し、継続的に改善策を講じられるよう取り組んでいます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先の施設の理念や支援手法を尊重し、その環境に適した方法で支援を行っています。	訪問先ごとの支援方法の違いをさらに深く理解し、より柔軟に対応できる体制を整えています。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		支援の記録を適切に行い、それをもとに支援の改善に役立てています。	記録の活用方法をさらに工夫し、支援の質向上に直接つなげられるよう努めています。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的に保護者の方や訪問先の施設とコミュニケーションを取り、支援内容が子どもの発達状況や環境の変化に適しているかを確認しています。保育所等訪問支援計画の見直しが必要な場合は、速やかに調整を行い、より良い支援につなげられるよう努めています。	保護者の方や訪問先のご意見をさらに詳しく伺えるよう、アンケートや面談の機会を増やし、よりきめ細やかな支援計画の見直しを行っています。また、見直しの際にその内容を分かりやすくお伝えし、支援の意図や目的を共有することを大切にしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		関係機関との会議に積極的に参加し、情報共有を図っています。	より効果的に情報を共有する方法を検討してまいります。
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1		地域との協力体制を築き、支援の幅を広げています。	改善点:より深い連携を目指し、関係機関と情報共有の機会を増やします。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		就学時の支援内容について、関係機関と適切に共有しています。	より早期からの準備や情報提供を充実させます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	外部の専門家からの助言を活用し、支援の質向上を図っています。	定期的な助言や研修機会をさらに充実させます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		地域の会議に参加し、お子さんたちの成長を支える環境作りに努めています。	参加内容を事業所内で共有し、業務改善につなげます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1		子どもの状況について、保護者の方々と意見交換を行っています。	より双方向の情報共有を進めています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	ペアレント・トレーニングや家族が参加できる研修の機会は未実施でした。	ペアレント・トレーニングや家族が参加できる研修の機会を設け、家族全体の支援に努めます。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		利用者負担などについて、保護者の方々に丁寧な説明を行っています。	より具体的で分かりやすい説明資料の作成を検討します。
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		訪問支援の趣旨や目的を訪問先施設に説明を行っています。	施設側の意見を反映する仕組みを強化します。	
29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		支援計画作成時に保護者の意思や子どもの最善の利益を重視しています。	保護者の意見をさらに反映しやすい環境を整備します。	
30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		支援計画を保護者に丁寧に説明し、同意を得ています。	計画説明の際に、より具体的で分かりやすい言葉を心がけます。	

保護者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		子育てに関する悩みや相談に対し、適切な助言と支援を行っています。	相談しやすい環境づくりをさらに進めます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		3	保護者会や交流機会を設けることができていませんでした。	保護者会や交流機会を設け、保護者間やきょうだい間のつながりを促進していきたいと思えます。参加しやすい時間帯や方法を検討します。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		相談体制を整備し、迅速かつ適切に対応できる環境を整えています。	保護者に相談体制をさらに周知する取り組みを強化します。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	2	活動概要や連絡体制を通信やSNSを通じて発信していますが、不定期なことが多かったです。	情報発信の頻度や内容を増やし、さらに分かりやすく工夫します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報の保護に十分配慮し、適切に取り扱っています。	保護者に安心していただけるよう、取扱い基準の透明性を高めます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		情報伝達や意思疎通に配慮し、丁寧な対応を心がけています。	より多様なニーズに応じた対応方法を模索していきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		訪問先の施設からの相談に適切に対応し、支援体制を整えています。	訪問先との連携をさらに深め、支援内容を充実させます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	2	訪問直後の施設との話し合いは難しいのですがオンラインにて支援内容を共有しています。	カンファレンス内容をさらに具体的に活用していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		訪問後に家族へ支援内容を適切に伝えていきます。	保護者がより理解しやすい情報伝達方法を取り入れます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		訪問時も個人情報を適切に扱い、安全に保護しています。	個人情報管理のさらなる強化を図ります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		訪問先施設と信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っています。	信頼関係をさらに強固にするための定期的なコミュニケーションの実施。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		緊急時や事故防止のためのマニュアルを整備し、訓練を実施しています。	マニュアルの見直しや訓練内容の具体化を進めます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を作成し、研修や訓練を実施しています。	定期的な安全管理の見直しを行い、さらに万全な体制を構築します。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハット事例を共有し、再発防止に努めています。	具体的な防止策を職員間でさらに周知徹底します。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止に向けた研修を実施し、適切な対応を徹底しています。	職員の意識向上と研修内容のさらなる充実を図ります。
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		必要に応じた身体拘束の基準を明確にし、保護者の方に丁寧に説明しています。	身体拘束を防ぐための代替策をさらに検討します。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	RIS保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2024年 12月4日		2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50 (回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2024年12月4日		2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2024年12月4日		2024年12月27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	35 (回答数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<b>高い専門性を持つ訪問支援員の配置</b> 言語聴覚士や理学療法士、保育士、ASDの専門家が在籍し、お子さんや保護者様のニーズにあった幅広い支援ができる。	・スタッフそれぞれの専門性を活かして、「言語聴覚士が他スタッフへ研修」「理学療法士が他スタッフへ研修」など、事業所内で専門的な研修を開催することで、1人1人のスキルアップを目指している。	・定期的な研修の実施や他機関との情報交換を行い、支援の質の向上を目指す。 最新の支援方法や実践的なアプローチを学び、現場での支援に活かしていく。
2	<b>現場に即した助言・支援の提供</b> 訪問先施設の方針や目的を尊重し、支援員が適度な距離を保ち、活動や授業での支援を行うことができる。	・事前の打ち合わせが難しい場面でも、その時々状況に応じた対応を徹底している。 ・児童一人ひとりの実態に応じた支援を行い、安心して活動できる環境を整えている。 ・連絡帳や訪問後のディスカッションを活用し、現場で活用しやすい具体的な助言を提供している。	・児童が自信を持って様々な活動に参加できるよう、支援の工夫を重ねていく。
3	<b>訪問先施設・家庭・他機関との連携強化</b> 園内での様子だけでなく、家庭や他機関の情報も考慮し、包括的な支援を提供している。 訪問先施設と連携しながら支援計画を立て、日常の中で児童が支援を受けやすい環境を作っている。	・園内での様子だけでなく、家庭や他機関の情報も考慮し、包括的な支援を提供している。 ・訪問先施設と連携しながら支援計画を立て、日常の中で児童が支援を受けやすい環境を作っている。	・児童の成長をより広い視点で支援できるよう、施設・家庭・関係機関との情報共有を強化する。 連携を深めることで、児童が日常生活の中で一貫した支援を受けられる環境を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<b>保護者や訪問先施設への情報発信の不足</b> アンケートの結果から、教材・資料の状況や事務所の環境について「わからない」という回答が多くみられた。	・訪問支援が中心で、保護者様が事業所に直接足を運ぶ機会が少ない ・SNSや通信の活用が限定的で、情報発信の頻度が不十分	<b>情報発信の強化</b> ・SNS・ブログ・LINE公式アカウントなどを活用し、教具・教材の活用例や支援の様子を定期的に発信する。 ・保護者様に向けた説明資料を充実させ、訪問時や面談の際に活用する。
2	<b>家族向けの支援プログラムや研修の機会の少なさ</b> 「家族向けの研修や情報提供の機会があるか」という質問に対し、約3割が「わからない」または「ない」と回答	・直接支援を重視しており、家族支援の場を確保するための体制を整えることが不十分であった。	<b>家族向け支援の場づくり</b> ・言語聴覚士や保育士による勉強会・座談会(オンライン含む)を開催する。 ・家庭で実践できる「関わりのヒント」や「遊びの工夫」をまとめた資料を作成、配布・共有する。 ・家族支援プログラムの情報提供を強化し、希望する保護者様が利用しやすい環境を整える。
3	<b>緊急時対応の共有の不十分さ</b> 「緊急時の対応が訪問先と連携して行われるべき」という質問に対し、約半数が「どちらともいえない」と回答	・事業所としての緊急時対応の方針があっても、それを訪問先施設や保護者様と実際に共有・確認する機会が少ない。 ・訪問支援中の役割が明確に定まっていないため、緊急時に支援員がどこまで対応すべきか迷う場面がある。	<b>緊急時対応の徹底</b> ・SNS等で緊急時対応マニュアルの共有を行う。 ・訪問先施設ごとに、連携時の方法を明確にし、事前に確認・共有を行う。

保護者等向け 評価表

公表日:

事業所名: 保育所等訪問支援 RIS保育所等訪問支援

対象人数(保護者)50人 回答者数 24人 回収 48%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	訪問支援に使用する教具教材が 整えられていますか。	13	11		事業所に行くことが無い為わかりません。 拝見した事ないのでわかりません。	ご意見ありがとうございます。今後は、SNS等で教具教材等の発信をさせていただきます。
	②	プライバシーに配慮された面接室 等が整えられていますか。	12	11	1	自宅での面接面談なのでわかりません。 拝見した事ないのでわかりません。	ご意見ありがとうございます。今後は、SNS等で事務所の様子の発信をさせていただきます。
	③	事業の目的が適切に説明されて いると思いますか。	23	1			
	④	保育所等訪問支援の頻度や時間 について、相談の上決定されて いますか。	24			もっと訪問して頂きたいと思っておりますが、 市の支給数がありますのでなんとも…	ご意見ありがとうございます。訪問回数 については、制度としてご希望に添えない ことがありますが、限られた訪問回数 の中で、より質の高い支援ができるよう に日々研鑽を行なっていきたいと思いま す。
	⑤	こどもの状態に応じた支援が提供 できる職員(職種や人数)体制だ と思いますか。	21	3			
適切 な支援 の提供	⑥	こどものことを十分に理解し、こど もの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いま すか。	23	1		はじめは子供との関わりがほとんどない ところからスタートしたので不安でした が、経験豊富な支援員の方々に、すぐに 子供の特性も理解してくれ、子供との信 頼関係も築けていたので安心してお任 せできてます。	ご意見ありがとうございます。今後も、信 頼関係を築きながら、より専門性の高い 支援を提供していきたいと思えます。
	⑦	こどものことを十分理解し、こども と保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、保育所等訪 問支援計画(個別支援計画)が作 成されていると思いますか。	23	1			
	⑧	保育所等訪問支援計画(個別支 援計画)には、訪問先施設や担任 等の意向が盛り込まれていると思 いますか。	21	3		担任の先生と相談のうえ支援して頂け ております	ご意見ありがとうございます。今後も、お 子さまにとって、より良い環境を整えてい けるように関係機関と連携を図っていき たいと思えます。
	⑨	保育所等訪問支援計画には、保 育所等訪問支援ガイドラインの 「保育所等訪問支援の提供すべ き具体的内容」も踏まえながら、 具体的な支援内容が設定されて いると思いますか。	22	2		私の勉強不足でガイドラインがわからな いのめ、どちらともいえないです	ご意見ありがとうございます。今後は、面 談のタイミングでガイドラインについて もお話をさせていただいたりSNS等でも 発信をしていけたらと思えます。
	⑩	保育所等訪問支援計画に沿った 支援が行われていると思えますか。	23	1			
	⑪	保育所等訪問支援を実施する際、 訪問先施設に配慮した支援が行 われていると思えますか。	23	1			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				
	⑬ 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24				
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10	7	7	わからない そのような機会があればうれしいです	ご意見ありがとうございます。ご家族様向けに、言語聴覚士や理学療法士、保育士等による勉強会や茶話会を開催させていただきます。
	⑮ 必要などきにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	23	1		LINEや対面で先生に直接相談できるので安心です。	ご意見ありがとうございます。今後も、ご家族様とより密に連携を図っていきたいと思います。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	1	送迎の際に先生に会えるので、適宜相談することができています。面談の機会を設けてくださり、お話を聞かせていただいたり、こちらからの相談に乗っていただいたりしています。	ご意見ありがとうございます。お困りの際に、いつでもご相談いただける体制を整備していきたくと思います。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1		心配が先走る時にも、子のできることにも視点を覚えてくださって、前向きに取り組んでいけるように支えてもらっています。	ご意見ありがとうございます。お子さま、保護者様に寄り添った支援が提供できるよう努めていきます。
	⑱ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2			
	⑲ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1			
	⑳ 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	22	2		毎回お話をしてくださっているようで、幼稚園の先生が相談した事もこういった方法はどうかなどたくさんアドバイスいただいたという話を聞きます。実際にご提案いただいた方法が息子に合って改善されましたという話も幼稚園の先生から聞いています。	ご意見ありがとうございます。今後は、より密な連携を図っていくことを目標としていきます。
	㉑ 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	23	1			
	㉒ 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	23	1		記録で支援内容も詳しく教えてもらえるので、色んな専門的な方法でアプローチしてもらっていることがよくわかり、家での関わりの参考にすることができます。アプリにて支援内容を詳しく書いて頂いて、わかりやすいですし、助かります。	ご意見ありがとうございます。今後も、具体的な支援の内容を保護者様と共有できるように努めてまいります。
	㉓ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	8			
	㉔ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1			
非常時等の対応	㉕ 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	16	8			
	㉖ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	3			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	㉗	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	23		1	先生が大好きで、前向きに支援を受け成長できています。信頼関係ができています。	ご意見ありがとうございます。お子さまと信頼関係を築き、お子さまが安心して過ごせる環境を整えていきたいと思ひます。
	㉘	事業所の支援に満足していますか。	23	1		<p>・支援の場所として、放課後デイサービスも対象になればありがたいと思うが、市の決まり上現状では無理なのが残念です。</p> <p>・今まで保育園の様子がわからず、どこを不安に感じているのか？など分からない部分が訪問支援のおかげで、分かる様になりとても助かってます。</p> <p>・言語聴覚士の先生の支援を受けることができることでとても成長することができたと思ひます。子が先生を信頼していることで支援を楽しみながら成長していくことができ、チャレンジする気持ちが湧いてきていることに感謝しています。</p> <p>・いつも細かく丁寧に様子を伝えてくださり、これからどのようにしたら良いか、幼稚園の先生にも色々ご提案いただいて、息子が幼稚園での生活をしやすく、楽しいものにして下さっています。</p> <p>訪問の度にアドバイスくださり、幼稚園の先生も実践して下さる事で、本当に成長を感じる場面がたくさんあるのと、楽しく過ごしている様子を幼稚園の先生から聞く事が多くなりとても嬉しく、訪問支援をお願いしてよかったと本当に感謝しています。</p> <p>もう少し頻度が増えるとうれしいのですが…</p>	<p>ご意見、温かいお言葉ありがとうございます。</p> <p>・放課後等デイサービスへの訪問は制度上難しいのですが、適宜関係機関として連携を図っていただけると思ひます。</p> <p>・今後も、園の先生、保護者様と連携を取り、お子さまにとって良い環境を整備していきたいと思ひます。</p> <p>・言語聴覚士としての専門性を活かしながら、より良い支援が提供できるように一層の研鑽を積んでいきたいと思ひます。</p> <p>・今後も、お子さまが安心して、園で過ごせるように、専門性を活かした支援を提供できたらと思ひます。</p>

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		2025年 3月 3日		
RIS保育所等訪問支援		利用児童数		55		
チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の必要としている支援をして下さっているため、安心して活動がしやすくなっていると思います。</li> <li>・生徒本人の実態に応じた助言をいただけるので取り入れやすいです。</li> <li>・毎回、連絡帳を共有させて頂いてわかりやすいです。</li> <li>・他機関での本児の姿なども考慮し、助言して頂けることが良いです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が児童の安心感や活動のしやすさに貢献できているとのこと、大変嬉しく思います。今後も必要な支援を提供できるよう、丁寧に観察と対応を行ってまいります。</li> <li>・実態に応じた助言が取り入れやすいと感じていただけて光栄です。引き続き、具体的に現場で活用しやすい助言を心がけてまいります。</li> <li>・連絡帳の共有が支援のわかりやすさにつながっているとお言葉をありがとうございます。継続して適切な記録を行い、共有を通じて連携を深めてまいります。</li> <li>・他機関での様子も考慮した助言が評価されていることを嬉しく思います。今後も多方面での情報を基に、適切な支援につながるアドバイスを考えるよう努めます。</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	15	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な支援をして下さっていると思います。</li> <li>・質問したことの回答や支援員の方からの助言は、とても参考になり満足しております。</li> <li>・訪問支援後に短時間ですがディスカッションできているので良いと思います。</li> <li>・保育の中に不和なく、入って頂けるので、本児も混乱しなく過ごせています</li> <li>・経験がある方だと思うので、対応は良く言葉が見習わなくてはならない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が適切であると感じていただけていることを嬉しく思います。今後も現場に即した支援を提供し、引き続きご期待に応えられるよう努めてまいります。</li> <li>・質問への回答や助言が参考になっているとのこと、ありがとうございます。ご満足いただける内容をお伝えできるよう、今後も丁寧な対応を心がけてまいります。</li> <li>・訪問支援後のディスカッションが評価されていることを嬉しく思います。短い時間でも有意義な情報交換ができるよう、引き続き努めてまいります。</li> <li>・保育の流れを乱さず支援できていることが本児の安定に繋がっていると伺い、大変励みになります。今後も自然な形で支援を心がけ、児童の安心感を大切にまいります。</li> <li>・対応や言葉遣いにご評価をいただき、ありがとうございます。ご期待に応えられるよう、経験を活かしつつさらにスキルを磨いてまいります。</li> </ul>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	14	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適度な距離感をとりつつ、本人が必要な時に応じて下さっていると思います。</li> <li>・困っていることを質問すると、いくつか提案していただけて助かっています。</li> <li>・本児の発達段階や特徴を共通理解した上で相談できるのでわかりやすいです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適度な距離感を保ちながら必要な支援を提供できているとの評価をありがとうございます。児童の自主性を尊重しながら、柔軟に対応を続けてまいります。</li> <li>・ご質問に対して複数の提案が役立っているとお言葉をいただき、嬉しく思います。引き続き、具体的かつ実践しやすい助言を心がけてまいります。</li> <li>・発達段階や特徴を共有した上での相談がわかりやすいと感じていただけていること、大変励みになります。これからもお子さま一人ひとりの理解を深め、連携を大切に支援を行ってまいります。</li> </ul>

4	<p>保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。</p>	15	1	<p>・“支援者の方が来る”ことをきっかけで気持ちをきりかえて活動に参加できることが増えました。          ・アドバイスいただいたことを試すことで、少しずつ解消しています。          ・少しずつ解消されていくと思っています。(継続していくことで)          ・園内の姿だけでなく、家庭や他機関との連携のかけ橋になってもらい、広い目で見ることができるようになりました          ・支援員さんが来られる日に1対1での活動を入れたりしているのでもたすかっています。</p>	<p>・支援者の訪問が児童の気持ちの切り替えや活動への参加促進につながっているとお言葉をありがとうございます。引き続き、児童が前向きに取り組める環境づくりを支援してまいります。          ・アドバイスが問題解消の一助となっていること、大変嬉しく思います。今後も具体的で効果的な提案を行い、さらに支援に貢献できるよう努めてまいります。          ・継続的な取り組みの中で、状況が少しずつ改善していくのご期待をありがとうございます。長期的な視点で伴走し、成果を積み重ねられるよう引き続き支援してまいります。          ・家庭や他機関との連携を通じて支援が広い視野をもたらしているとの評価をいただき、光栄です。これからも情報共有を密に行い、児童を多方面から支える体制を強化してまいります。          ・支援員の訪問に合わせた1対1の活動が役立っているとのこと、大変嬉しく思います。引き続き、児童一人ひとりのニーズに応じた支援を提供し、施設の取り組みをサポートしてまいります。</p>
5	<p>事業所からの支援に満足していますか。</p>	15	1	<p>・担当が手がまわらないところで、本人に必要な支援をしてくださっているため、とてもありがたいです。          ・助言の内容、回数ともに満足しています。          ・普段なかなか1対1での長時間の対応が出来ないのでとても助かっています。大満足です！</p>	<p>・支援が必要な場面でお役に立てているとのこと、大変嬉しく思います。今後も担当の先生方と協力しながら、児童にとって適切な支援を提供できるよう努めてまいります。          ・助言が内容・頻度ともにご期待に沿えていることを光栄に思います。これからも現場に即した的確な助言を心がけてまいります。          ・1対1の支援が役立っているとお言葉をありがとうございます。児童一人ひとりに合わせた支援を提供し、引き続きご満足いただけるよう尽力いたします。</p>
<p>その他のご意見</p>				<p>ご意見を踏まえた対応</p>	
<p>・いつもありがとうございます。運動の場面で、やはり○○さんのできることが限られてくるので、今年度、支援に入っていたくようになってから、幅が広がったように感じます。今後とも、よろしく願います。          ・子どもに寄り添って支援していただき、感謝しています。いつもありがとうございます。          ・事前の打ち合わせが難しい中、その時その時で臨機応変に動いて支援してくださっています。いつもありがとうございます。          ・支援報告をいつも読ませていただいています。担当が把握できない部分も記載しており、助かります。あたたかみのある報告で保護者も、うれしいと思います。          ・対象児童への理解・対応に関して、より深めようとして毎回、多視点で考慮して頂いていると思います。          ・いつも笑顔で対応してくれます。ありがとうございます。</p>				<p>・丁寧なご意見をありがとうございます。支援の効果が実感されているとのこと、大変うれしく思います。引き続き、児童の成長を促せるようサポートを工夫しながら行ってまいりますので、よろしく願います。          ・温かいお言葉をありがとうございます。これからは児童の気持ちに寄り添いながら、一人ひとりに適した支援を心がけてまいります。          ・そのように感じていただけて、大変光栄です。事前の打ち合わせが難しい場面でも、できる限り状況に応じた対応ができるよう努めてまいります。          ・支援報告について、そのようにおっしゃっていただけて大変励みになります。これからは丁寧でわかりやすい報告を心がけ、児童や保護者の皆さまに喜んでいただけるよう努めてまいります。          ・ご意見ありがとうございます。児童をより深く理解し、多方面から支援を行うことを大切にしているため、その点をご評価いただけたことを嬉しく思います。今後も工夫を重ねていきたいと思っております。          ・温かいお言葉をありがとうございます。笑顔での対応は事業所として心がけていることの一つですので、そう感じていただけて光栄です。これからもよろしく願います。</p>	